

京都大学(岡山 3.8m せいめい望遠鏡 関連)活動報告

2020/3/18 予定だった 光赤天連総会

2019/2/28 から、国立天文台との協力のもとで、第1期(2019年前期)の共同利用観測を3月から6月まで成功裡に行なうことができた(応募件数22件、採択件数14件で35夜; なお京大時間では25課題を採択)。

2019年後期の8月から12月の共同利用観測は、応募件数14件、採択件数14件で72夜(京大時間では16課題を採択)。

2020年前期の1月から6月の共同利用観測は、応募件数19件、採択件数16件で74夜(京大時間では18課題を採択)である。<http://seimei.nao.ac.jp/openuse/proposalstatistics/> 参照



2019/11/3 にインストルメントローテータを搬入した



今は青ナスミスに KOOLS-IFU

- 分割主鏡の像:** 1-2 秒角で安定しており、シーイング限界の観測が行なえている(夜間に2-3回、シャックハルトマンカメラで調整をすることが望ましい)。2019B 期以降、調整直後の星像は FWHM で 1.0 秒角、高度を大きく変えた後も 2 秒角を達成している。
- 指向精度:** 全天で数秒角 rms。
- 観測装置:** ナスミス焦点(青いナスミス台の方)に KOOLS-IFU 分光器(波長分解能 600-2000)のファイババンドル(視野 15 秒角)が搭載されている。イメージローテータで像回転を止めている。2020 年後期からは赤ナスミス台に設置したインストルメントローテータに KOOLS-IFU 分光器を置き、オフセットガイダで観測予定。その後、高速測光分光装置、GAOES-RV 高分散分光装置などが搭載される予定である。

